

就学援助制度のご案内です

経済的な理由で、就学が困難と認められる児童・生徒の保護者へ、学校給食費や学用品費の一部を援助します。

◆援助対象者

生活保護世帯に準ずる程度に困窮していると認められる世帯

◆申請方法

教育委員会学校教育課で申請を受け付けます。また、市内各学校、地区の民生委員にも相談できます。

◆援助項目
給食費、学用品費、通学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、宿泊訓練費など

申請後に定例教育委員会審査をし、認められれば認定となります。世帯の収入や資産状況などによっては認定できない場合があります。

▼問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-22227



教育長コラム

～ちょっといい話～



今月号から田原優子教育長の連載をはじめます。「ちょっといい話」として教育への思いを伝えていきます。

可能性に満ち、輝かしい未来ある子どもたちが、希望に向かって歩けるようにさまざまな応援ができます。その一つに“就学援助制度”があります。学費などに不安がある人は、まずご相談ください。子どもたちに「教育を受けさせる義務」がありますから。

こんな経験があります。祖父母夫婦が、孫二人を育てておられたのですが、おばあちゃんが急に亡くなり、小学生の二人の進学・生活を案じました。その当時、校長として「役場に相談と一緒にまいりましょう。学費も大きくなりますから」と相談したら、年金で頑張るとのご返事。あれから、毎年、「何年生になった、学校に行けているかな」と、案じ続けています。



「多久学びの里プロジェクト」第三弾！

多久市は孔子の里として、江戸の昔よりさまざまな「学び」や「教育」を先進的にやってきた土地でした。この「学びの里」とも言える多久市で、21世紀の新たな「学びのスタイル」を発信しようというのが、「多久学びの里プロジェクト」です。

第3回となる講演会は、数学者ピーター・フランクル氏を招いて開催します。この機会をお見逃しなく！

定員 500人



■第3回講師

ピーター・フランクル 氏

1953年ハンガリー生まれ

ハンガリーの最高科学研究機関であるハンガリー学士院のメンバー。日本ジャグリング協会名誉理事。国際数学オリンピックへの日本チーム参加に尽力し、優秀な学生の育成に努める。語学にも長けており、大学で講義できる程度に話せる言語は12か国語。100か国以上を訪問している。時間の許す限り講演に訪れる全国の路上で得意の大道芸を披露する。今までに書いた数学の論文は300編以上におよぶ。数学関係の著書は一般向けから大学院生向けの専門書まで多数ある。NHK教育テレビ『趣味Do楽 荒井良二の絵本じゃあに』、NHK『人間講座』『龍馬伝』、日本テレビ『世界一受けたい授業』など、出演番組多数

日時 2月25日(土)

参加料無料!!

会場 多久市中央公民館

開場 13時 開演14時

参加申込

多久市役所情報課へTEL・FAX・E-mailで申し込みを受け付けます。

☎ 75-2280

☎ 75-2110

✉ koho@city.taku.lg.jp

問い合わせ 情報課 広報広聴係 ☎75-2280

